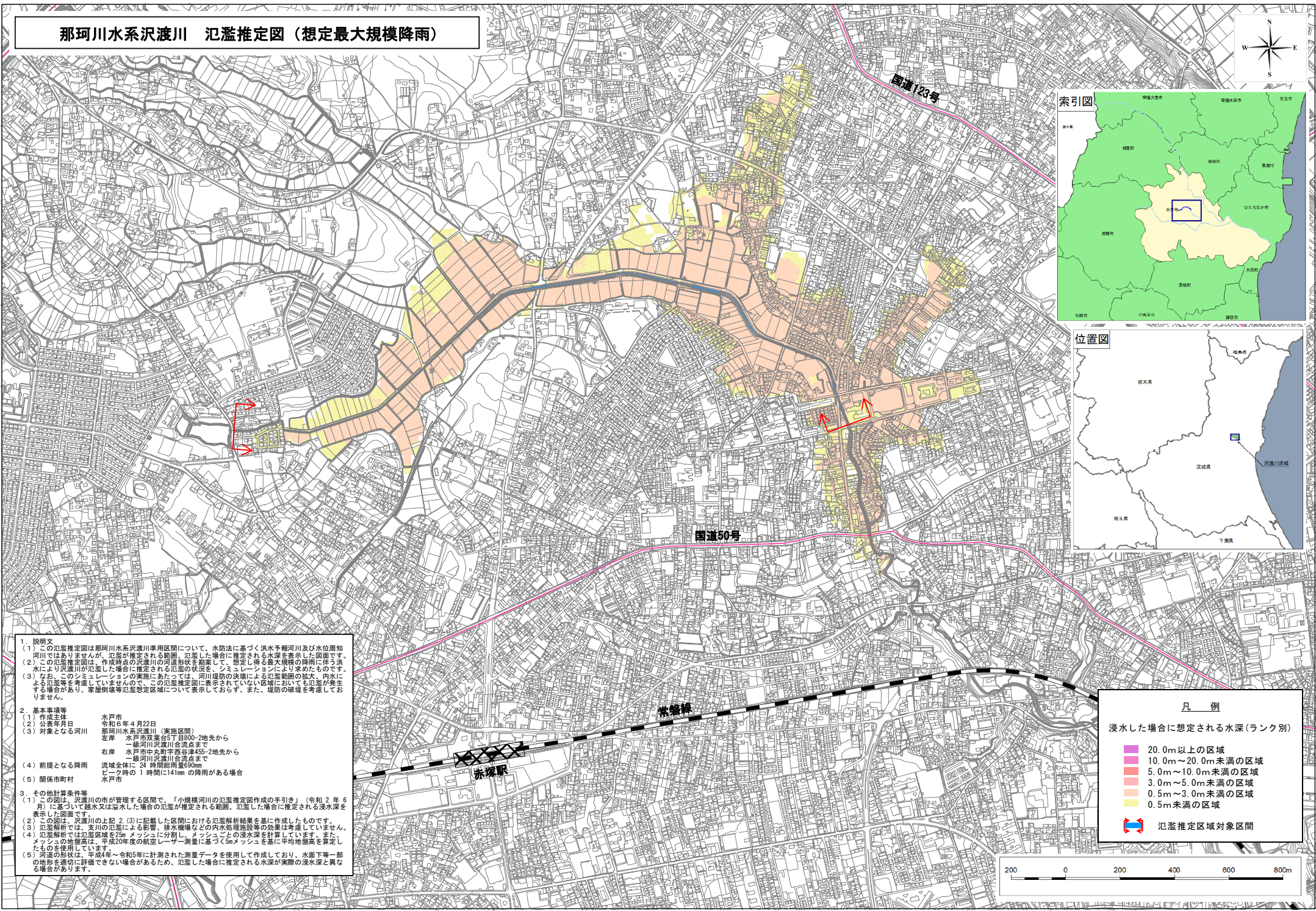
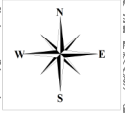


# 那珂川水系沢渡川 氾濫推定図（想定最大規模降雨）



1. 説明文  
 この氾濫推定図は那珂川水系沢渡川準用区間について、水防法に基づく洪水予報河川及び水位周知河川ではありませんが、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。  
 この氾濫推定図は、作成時点の沢渡川の河道形状を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により沢渡川が氾濫した場合に推定される氾濫の状況（シミュレーション）による推定図です。  
 なお、この図面は、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この氾濫推定図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があります。家屋倒壊等氾濫想定区域については表示しておらず、また、堤防の破壊を考慮していません。
2. 基本事項等  
 (1) 作成主体 水戸市  
 (2) 公表年月日 令和6年4月22日  
 (3) 対象となる河川 那珂川水系沢渡川（実施区間）  
 左岸 水戸市双葉台5丁目800-2地先から一級河川沢渡川を流下する  
 右岸 水戸市中丸町字西谷津455-2地先から一級河川沢渡川合流点まで  
 (4) 前提となる降雨 流域全体に24時間毎時30mmピーク時の1時間に141mmの降雨がある場合  
 水戸市
3. その他計算条件等  
 (1) この図は、沢渡川の市が管理する区間で、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。  
 (2) この図は、沢渡川の上記②(3)に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。  
 (4) 氾濫解析では氾濫区域を25mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。  
 メッシュの幅は、平成20年度版「水防法に基づくメッシュ」を基に平均地高を算定したものを使用しています。  
 (5) 河道の形状は、平成4年～令和5年に計測された測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を正確に反映できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

20.0m以上の区域
10.0m～20.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
0.5m未満の区域

氾濫推定区域対象区間

